

第9回政策推進会議報告

日 時 8月3日 14時33分～14時43分

場 所 4 - 1会議室

出席者 18人

1 平成24年度普通交付税及び臨時財政対策債等の概要について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・生活保護費が増加しているのは良くないが、地方交付税が増額となっているのは良いと思う。上ぶれしたことによる収支見通しへの影響はどうか。

これまで生活保護費に関しては国の算定と乖離が生じており、国から当初算定が出た時点で個別に要望したこともある。24年度の収支については45億円の財源対策を実施してようやく均衡となっているので、この増額分により、基金の取り崩しの圧縮に努めたいと考えている。来年度以降は前年実績を基に算定されるであろうが、一方では、国家公務員の7.8%の人件費削減の影響のように不確定な要素もあるので、単純に増えるとは考え難い。

- ・基準財政需要額の増加が交付税算定に影響しているのであれば、次年度以降の収支見通しも、このことを加味すべきではないか。もし、加味しない場合、歳入見込みが10億円以上減ることになるが、10億円を超えるような行財政改革は困難である。3年続けて上ぶれていることについて、収支見通し上は、どう考えているのか。

人件費が流動的であることから、その取扱いも含めて、担当者が8月16日に総務省へ訪問し、状況を聞く予定である。上ぶれている金額の大きさについては認識している。

(市長) 議会への説明は行ったのか。

7月25日に新聞報道があり、その時に対応している。総務消防委員会において、意図的に厳しく算定しているのではないかという指摘があったが、そのような意図はない。

(市長) 今回の増額分を加味しても収支均衡していない。いずれにせよ、次期行財政計画の収支見通しで整理されるということでよいか。

そのとおりである。

以 上